

松若 餅つき 招き児童避難

餅つきを楽しむ子ども



会津若松市の若松ガスは十四日、市内に避難している大熊町の小学生らを同社に招き、餅つきや料理などを楽しんでもらった。

同社が展開している東日本大震災復興支援「絆プロジェクト」の

一環。子どもたちを元気づけようと、射的や豚汁の振る舞いなどのコーナーを設け、自由に過ごしてもらった。社内にあるガスクッキングスタジオも開放した。

会場には東山温泉に

避難している子どもたちが次々に訪れ、イベントを満喫。家族四人で参加した大野小二年の斉藤勝己君は「餅つきが楽しかった。味もお

いしい」と笑顔をみせた。同社は二十八日、六月十一日にも子どもたちを招待する。

六月十五日から七月

末まではガスこんろやガス給湯器などのガス機器販売キャンペーンを実施し、売上金の一部を義援金に充てる。